

リーディングDXスクール事業【実践事例】

西米良村立村所小学校（宮崎県）【指定校】

【取組内容】 家庭から学校に学習をつなぐコネクト学習

コネクト学習予習型

クラウドを活用して事前に考えをもたせてくることで、教師が授業前に児童の考え方の把握、考え方の修正やアドバイスにつなげる。また、スムーズな授業展開を通して、協働解決の時間の確保や習熟時間の充実につなげる。

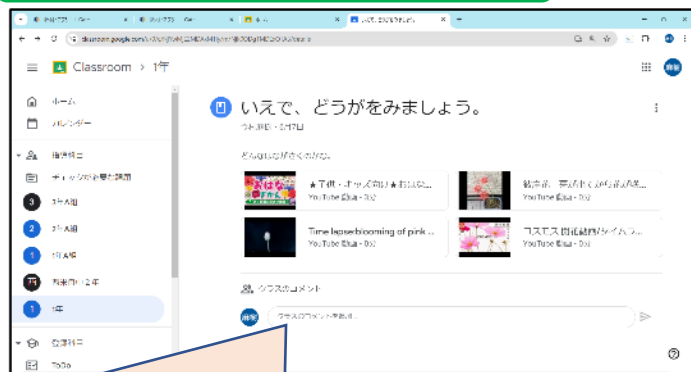
家庭

学校

家庭

【問いをつかむ段階】を家庭で行う

小1 国語 単元名: つばみ



花のつばみに対する児童の知的好奇心を高めるために、Google Classroomを活用し、花のつばみが開いていく動画を配付した。事前に児童に視聴させることで、様々な花に対する興味が高まった。

【考えをもつ・問いを解決する段階】の時間の充実



児童は画面の自分の絵を見ながら、なぜそのような絵を描いたのかを理由を付けて説明することができていた。

【まとめる・確かめる・振り返る段階】から次のステップへ

児童の反応

ほとんどの児童が「よくできた」、「できた」と評価し、学習に対して納得感を得ることができていた。

家庭で考えをもたせることで導入の時間を短縮し、協働作業・協働解決・確かめる時間を確保する。

コネクト学習のねらい（一人二台のタブレットの活用）

- ① 学びに連続性をもたせる。
- ② 時間を効率的に使う。
- ③ 主体性を高め、確実な学びにつなげる。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

西米良村立村所小学校（宮崎県）【指定校】

【取組内容】 学校から家庭に学習をつなぐコネクト学習

コネクト学習復習型

学校で学んだ内容について、AI 型ドリルで復習したり、Microsoft Teamsの音読練習を活用することにより、個別最適な学びにつなげる。

家庭

学校

家庭

【問いをつかむ段階】

【考えをもつ・問いを解決する段階】

【まとめる・確かめる・振り返る段階】の時間を十分に確保し、家庭での学習につなぐ

小1 算数 単元名:たしざん(1)



発表ノートを使い、お互いの考えをタブレット画面を見せ合いながら伝え合うことで、考えを確認したり、深めたりすることができた。

GoogleFormsを使い、前時の振り返り結果を本時の初めに提示したことで、児童自身がクラス全体の実態を知ったり、どの部分に焦点を当ててがんばりたいかを明確にしたりすることができ、本時の学習への意欲をもたせることができた。

コネクト学習のねらい（一人二台のタブレットの活用）

- ① 学びに連続性をもたせる。
- ② 時間を効率的に使う。
- ③ 主体性を高め、確実な学びにつなげる。

まとめが終わった後は、問題集、AI型ドリル教材という流れで練習問題に取り組ませた。

児童の反応

本時の振り返りにおいて、同項目が「できた」と答える児童の割合が増えた。

家庭での学習

家庭で本時の類似問題を解かせ、学びが確実に定着するように取り組ませた。



学校でスタンダードの授業の流れを行い、家庭で自分の力に合わせて「確かめる」学習を充実させる。